

北アルプス・鹿島槍氷のリボン及び北壁主稜(氷雪クライミング)

(日時) 2026年3月20日～23日

(メンバー) 2名

(コース) 3月20日 信濃大町—大谷原—天狗尾根取り付き—天狗の鼻
3月21日 天狗の鼻—蝶型岩壁取り付き点—北壁氷のリボンF3終了点—稜線—天狗の鼻
3月22日 天狗の鼻—カネク里—北壁主稜取り付き点—北峰—天狗の鼻
3月23日 天狗の鼻—天狗尾根取り付き—大谷原—信濃大町

(山行記録及び報告)

3月20日 信濃大町(8:30)—大谷原(9:45～10:00)—天狗尾根取り付き(12:00～12:30)—天狗の鼻(17:00)

残雪の天狗尾根、東尾根とともに積雪・残雪期出なければ登攀できない2回徒渉、藪漕ぎ、雪稜を歩いて、天狗の鼻に着く。
強風の中、テントを設営。

3月21日 天狗の鼻(5:15)—蝶型岩壁取り付き点(6:40～7:00)—北壁氷のリボンF3終了点(11:30～12:15)—稜線(13:30)—天狗の鼻(16:05)

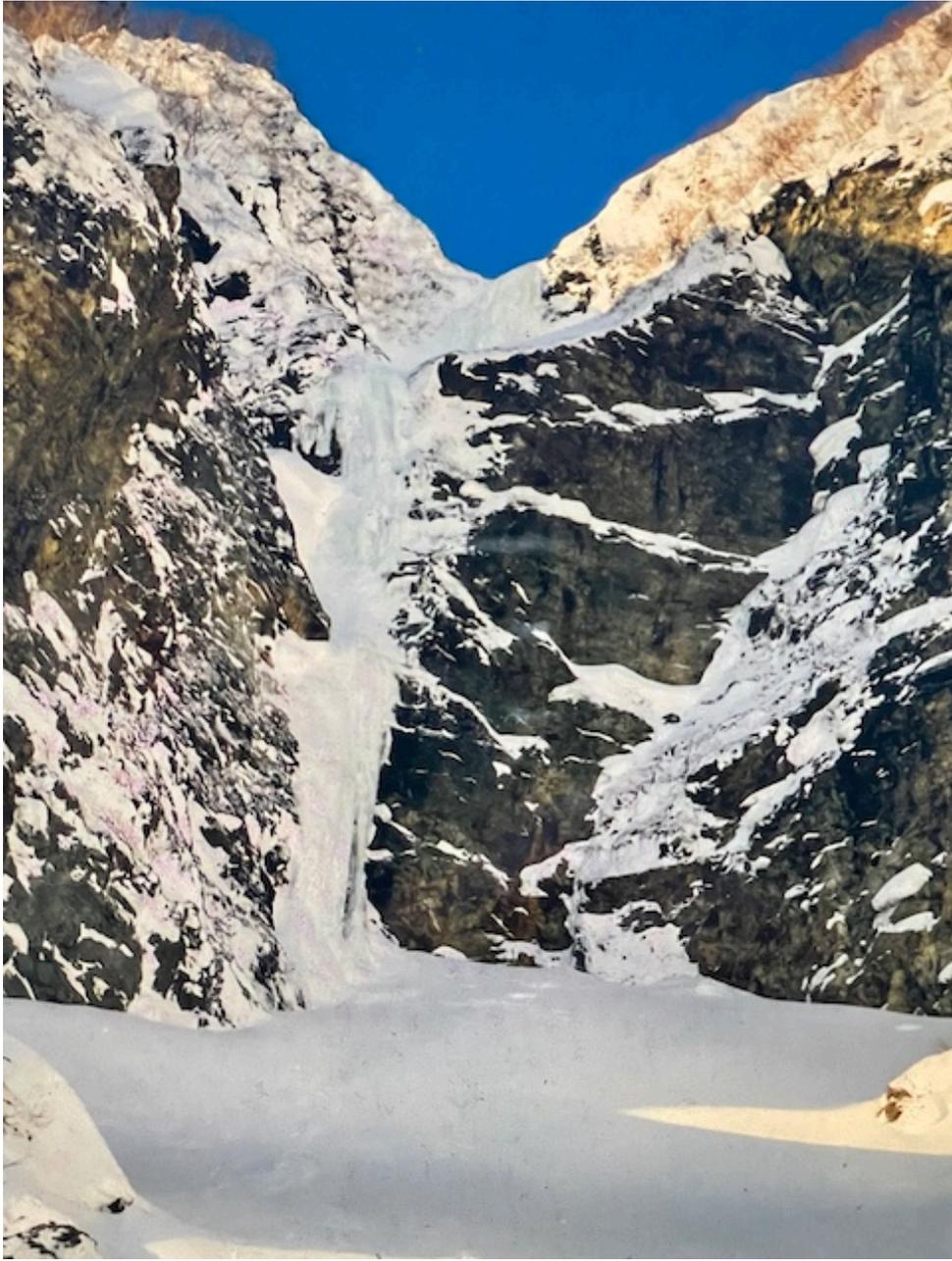
トラバースアプローチは、木曜の新雪で、ラッセル。ふかふかで怖い。氷のリボンは、立派に育っていた。

氷のリボンは、三段の氷瀑。ブルーアイスに見えたが、スカスカの所も多い。

取りついてみると、薄被りで難しい。F1は40～50m程。出だしの10mは、傾斜がきつい。F2は80°程の氷が続く。F3は、左に雪壁をトラバースぎみに登り氷に取り付く。午後になると、上部のルンゼから雪崩が降ってきた。雪庇恐る恐る超えて、稜線に着く。

天狗尾根を降りて終了。

テントは、いくつか入れ替わっていた。



氷のリボン

3月22日 天狗の鼻(4:30)ー北壁主稜取り付き(6:30~7:00)ー
稜線(14:00~14:15)~天狗の鼻(17:00)
カネク里まで降り、登りかえすアプローチで、北壁主稜へ。
壁全体が見える。怖いトラバースよりコスパがいい。
昨日のトレースが、結構残っていて、楽をさせてもらった。
F1?は、結構立派に凍っていて難なく突破。
その後は、ルンゼ行ったり、尾根行ったりと複雑ながら突破。
最後だけは、岩稜といった感じで、登攀終了。
思っていたより壁でなくて、雪稜といった感じでした。
でも、前から念願だった2つのルートに行けて満足。

3月23日 天狗の鼻(6:00)~天狗尾根取り付き(11:00)ー
大谷原(12:30~13:30)ー信濃大町(14:30)
最終日は、ゆっくり下山。
天気も良かったし、最高の4日間でした。

